(6) 慢性透析治療の形態の割合推移（図表7）

患者数は2009年から増加のスピードが速まっている。腹膜透析は近年、患者数、割合とも漸減傾向にある。

患者の84.1%が昼間に血液透析を受けていた。在宅血液透析は、2014年末でも529人、0.2%にすぎないが、合計は一貫して減少しているが、その実数はこの10年間ほぼ横ばいで推移している。2014年末には、全透析

解説

1990年頃を境として、一貫して、昼間透析は増加している。夜間透析患者数の透析人口全体に占める割合は一貫して減少しているが、その実数はこの10年間ほぼ横ばいで推移している。2014年末には、全透析患者の84.1%が昼間に血液透析を受けていた。在宅血液透析は、2014年末でも529人、0.2%にすぎないが、患者数は2009年から増加のスピードが速まっている。腹膜透析は近年、患者数、割合とも漸減傾向にある。